

# 商店街のダイナミック・メンテナンス：協力性と社会的凝集性

与謝野 有 紀 ・ 橋 本 理

## ‘Dynamic Maintenance’ in a Shopping Area — Cooperation and Social Cohesion —

Arinori YOSANO, Satoru HASHIMOTO

### Abstract

In this paper, we discuss an adaptation of a shopping area to socio-environmental changes using the concept of ‘dynamic maintenance’. Different from an orthodox concept of maintenance, ‘dynamic maintenance’, which was proposed by N. Saito in 2003, refers to relations among structures, functions and changes of a system and can be applicable to social phenomena. Based on Saito (2009), we derived the next two points. First, if shops in a shopping area turnover time and again, it does not necessarily mean loss of identity of a shopping area. Second, because a process of ‘dynamic maintenance’ involves positive action for environments, shops in a shopping area eventually create their environment by themselves. Further we argue that cooperation among actors in a shopping area is a fundamental condition for sustainability of a shopping area. On the ground of these theoretical discussions, we tried to empirically elucidate causality among cooperation in a shopping area, commitments to a shopping area, and ties among shops. Using ‘analysis of covariance structure’, we tentatively concluded that ‘cooperation’ was generated from ‘commitments’ and ‘ties’ in a shopping area.

keyword: dynamic maintenance, shopping area, commitment, tie

### 抄 録

本稿では、斉藤（2009）のダイナミック・メンテナンスをめぐる議論を前提に、構造、機能および変動の問題を同時に考察する枠組みを商店街を例にとりて考察した。まず最初に、商店街の同一性の問題をダイナミック・メンテナンスの視点から理論的に検討し、構成要素の頻繁な入れ替わりがあったとしても、同一のシステムとして存在しうることを議論した。また、社会システムの環境適応にプロセスについては、既存のメンテナンス概念ではとらえきれないことを手短かに整理し、環境受動的ばかりでなく、第4の特徴としての“環境創造”の過程が存在することを指摘した。これらの理論的検討を通じて、商店街のダイナミック・メンテナンスにおいては、協力性の存在がもっとも重要な条件であることを示した。最後に、これらの理論的検討を受ける形で、協力性が実際に商店街においてどのように形成され、またそれが愛着、つきあいなどの諸変数を規定するかに関して、共分散構造分析を用いて検討した。その結果、協力性は愛着、つながり、創業からの年数によって促進されることがあきらかになった。

キーワード：ダイナミック・メンテナンス、商店街、愛着心、つながり

## 1. ダイナミック・メンテナンスしつづける商店街

### 1-1 社会変動とダイナミック・メンテナンス

通常、メンテナンスの概念は、斉藤（2009）が指摘するように「維持管理として理解される」。そして、「普通の工学のイメージでは（土木工学が典型）、インフラを造った時点の状態に保つことがメンテナンスだと考えられるかもしれない」（斉藤、2009）と指摘されるように、人工物の構成が完了した時点の状態を継時的に一定の状態に保つこととして概念化される。ところで、社会システムの諸問題をこのようなメンテナンス概念から考察することの不十分さは、構造・機能理論の問題点として長い間社会学において認識されてきたものに対応している。すなわち、社会構造は、安定均衡したシステム——一定の状態に短期に復元する安定的なシステム——としてはみなしえないということと対応している。社会構造は間断なく変化しており、社会システムを構成する諸要素間の関係のパターンは、中・長期的に変容を遂げている。このような変動の視点を、構造・機能理論を越えて定式化しようとする試みがなされてきたが、紛争理論をその典型とするように構造・機能理論の批判理論としての色合いが強く、変動を必然とするという点で逆に一般性に関する問題を含みこんでしまっている。また、富永（1995）の「構造－機能－変動論」のように、構造・機能理論の理論構成を出発点として社会変動を一般的に定式化しようとする試みも一部にはあるが、現実の社会変動を後追いの記述するための概念整理の色合いが濃く、個別事例の詳細な分析や予測のための強力な理論ツールとはいまだなっていない。

ところで、本邦においては、橋爪・志田・恒松（1984）の構造・機能理論批判を一つの転換点として、構造・機能理論は無効な社会理論であるとの認識が広まっている。橋爪・志田・恒松（1984）の批判は、盛山（2000）も指摘するように必ずしも適切なものとはいえないし、橋爪・志田・恒松（1984）は、批判論文を通じて構造機能主義をめぐる活発な議論がさらに展開されることを意図したと推測されるのだが、その帰結は意図せざるものになってしまっている。この結果、実際には構造・機能理論的解釈がなされている場合でも、論文中で構造・機能理論そのものが明示的に議論されることは現在では少なく、この事情を背景に、構造・機能理論と社会変動論を包摂するより一般的な理論への社会学的熱意は薄くなっているように見える。しかしながら、社会構造、機能および変動を同時に視野におさめる理論の構築は、現在においても社会学における最も重要な課題の一つであることは変わらないし、日本の既存の議論の状況から一度自由になって、社会構造、機能および変動を再検討することが今必要とされているように思う。もちろん、このことは、既

存の議論をすべて捨て去るということを意味するのではなく、それぞれの議論が抱える問題を、既存の議論がたどった経路から一度自由になって再検討することを意味する。

本稿は、この点に関する理論研究を目指しているわけではない。しかし、後述するように、商店街という具体的な対象を設定しながら、中範囲のモデル構成をおこない、構造、機能、変動を同時に見据えた理論構築をめぐる課題を再考する契機を得たいと考えている。そのため、ここでは構造・機能理論およびそれに触発されて生まれた諸概念ではなく、敢えて、斉藤（2003）によって提示されたダイナミック・メンテナンスの概念のもとでこの作業を行おうと考えている。ここで、ダイナミック・メンテナンスという新しい概念を用いて問題を考えていくのは、既存理論から思想的に自由になり、理論—実証間の相互作業を前進的に行うための戦略である。この戦略によって、既存の議論のながれから自由に議論できる空間を獲得し、具体事例の課題を整理していったあとで、既存理論とこれらの整理の関係性を明示し、構造、機能、変動を包括する理論の構成の可能性について近い将来に再度の検討を期したい。

さて、斉藤（2009）は、通常のメンテナンス概念とは異なるものとして、ダイナミック・メンテナンスの概念を提示しているが、この概念は以下の3つの特徴をもっている（斉藤、2009）。

1. 精密には予測していない問題に、事後的に対処するという視点
2. システムの同一性の維持への着目
3. 外部環境への対応において、外部の影響をコントロールすることを考えるだけでなく、それを受け入れる内部的対応を考慮するという視点

既存のメンテナンスは、上記2の「システムの同一性の維持」について、構築時の状態を安定的に維持するという形で厳密に行おうとするものということができる。ダイナミック・メンテナンスの視点は、この同一性の維持問題についてより広義な視線をもつばかりでなく、1および3の視点を導入することで、社会システムの柔軟な環境への対応をも考察しようとするものである。この斉藤（2003）の提案を出発点として、ここでは、商店街を例にとりながら、工学的な既存のメンテナンスの概念と異なるダイナミック・メンテナンスのプロセスについて考えていきたい。ここで、われわれが商店街を例にとるのは、1）中・長期的に安定的な構造を観察することができ、また、2）主体が同一の機能の中・長期的に安定的に提供している様相を測定できる一方で、3）間断なく内部的な変化・対応があることも外部から比較的容易に観察できるためである。この3つの条件を有するフィールドを考えていくことで、ダイナミック・メンテナンス概念を単なる理論構築物に終

わらせることなく、現実を整理するツールとしていくことができるだろうと考えている。以下、商店街のダイナミック・メンテナンスの特徴を同一性と外部環境への対応の2つの側面から整理してみたい。

## 1-2 構造の変化と機能の同一性

商店街を構成する構成主体は、さまざまなレベルで整理できるが、まず事業所を単位として考えてみよう。商店街を構成する事業所は、チェーン店、フランチャイズ店、本店－支店関係にある商店を除くならば、一般的にはその経営において連携していない。いいかえれば、事業所はそれぞれ独立した経営主体として、相互独立に営業の方針を作成し、ときとしては連携関係ではなく競争関係となる。独立した行為主体の独立した決定が大きく許容されていることは、企業組織などを考える場合とは異なる視点を必要とする。もちろん、企業組織の中にも競争関係は存在するし、従業員にはある程度独立した判断が要求・許容されるけれども、明示的および暗黙裡に存在する規則に行為者が一律に強く拘束されていること、また意思決定には決められた階梯があることなどが商店街の場合と大きく異なる。商店街にはそれぞれの具体的経営方針を規定する上位の方針は存在しないし、それぞれの経営判断の成功・失敗もすべてそれぞれの事業所に帰属される。このことは、商店街の構成要素である事業所の固定性が低いことと表裏をなしている。事実、後述するように、日本を代表する商店街の一つである天神橋筋商店街においても、事業所の入れ替わりは少なくない。このように商店街では、参入と退出が比較的頻繁に起こっているのだが、このことが既存のメンテナンス概念ではなく、ダイナミック・メンテナンスの視点を導入しなければならないことの理由の一つである。

上記に述べたように、商店街では、その主たる構成要素である事業所が頻繁に入れ替わりうるのだが、この場合、商店街の同一性はどのようにして識別されうるのだろうか。既存のメンテナンスでは、構成初期の状態に復元することめざし、これを通じて同一性を確保するが、商店街ではその構成要素の入れ替わりの率が大きく、この点で原初状態への復元はなされていない。もちろん、工学的なメンテナンスにおいても、新しい部品への入れ替えが生じてるが、その場合、同一形体、同一特性をもつ部品への入れ替えが基本であり、この点は商店街における事業所の入れ替わりとは事情が異なる<sup>1)</sup>。商店街での事業所の入れ替わりは、業種が異なるものになることも多く、一般的には、同一形体、同一特性をも

1) 工学的メンテナンスにおける同一形体、同一性能でないものへの入れ替え、すなわちより高機能品への入れ替えなどについては、商店街との比較でのちに手短に触れることにしたい。

つ構成要素への入れ替えとはならない。また、事業所の入れ替わりは、異なる営業方針をもつ事業所への入れ替わりを意味するから、連携・競争関係など商店街内部の関係も変化する。このような主要な構成要素の頻繁な入れ替わりは、次の根源的な問いにつながっていく。すなわち、「商店街に中・長期的な同一性はあるのか」という問いである。また、この問いは、商店街はどのように定義されるかという問題とも直結する。

商店街の定義は、行政的には、たとえば、「商店街振興組織、事業協同組合などの商店街団体が存在すること」として操作的になされる<sup>2)</sup>。一方、商店街団体の存在を前提にせずに、商店が連なっている企業集積地を商店街として扱い、その活性化を論じる例も散見される。商店街団体とその加盟者をもって商店街として定義するやりかたも、そして、単なる企業集積地としてとらえるやり方にも、それぞれに長所・短所がある。前者では同一性をめぐる困難な問題がクリアされており、助成などの対象を容易に特定できる。その一方、前者の定義では、活性化の途上にあり、これから組織の形成が期待できるような地域、あるいは、商店街団体はないが顧客からは商店街として認識されている地域が排除され、商店街の基本となる顧客の認知とのずれが生じうる。商店街の需要の一部は、商店街として認知されることを通じて惹起されるから、顧客など商店街外部の主体による認知の問題は無視できない。言い換えれば、顧客にとっては、商店街団体が存在することは、商店街として認知することの必要条件とも十分条件ともならない。また、顧客は、それぞれの商店と取引をするのであり、商店街組織は原則的にその取引に直接かわからないこと考えるならば、商店街団体を商店街と同一視することにはやはり問題がともなうだろう。

一方、商店街を単なる企業集積地としてとらえることも不十分である。商店が連続し、顧客が商店街として認識するためには、街灯や歩道の整備、商店街名を明示した看板の設置などインフラの共同整備と、販売促進活動、防犯活動などソフト面での協力行動が必須である。これらの共同整備や協力行動がなく、個別の商店が通りに沿って集積しており、その商店の集積を顧客が商店街として認識するということも想定できないわけではない。しかし、このような孤立した商店の集積は、インフラの整備やソフト面での協力行動によって得られる利得を失う点で安定的な状態とは想定し難い。また、日本国内の事例に限って言うならば、そのような状態が中・長期的に継続している例を見出すことも難しい<sup>3)</sup>。

2) このような定義は、行政が助成を行う場合などの基準として各地で採用されている。ただし、たとえば、大阪府高槻市の場合に見られるように、実際の施策においては、商店街団体が存在しない商店集積地の事業者にもきめ細かい対応を試みられている。

3) 商業ビルや、商店街組織をもつよく整備された商店街の周辺に、この思考実験に近い例がみられることがある。われわれが関与した2006年度の大阪府下A市の中心市街地商店街調査においても、これに該当する地域が存在し

これらを考えるならば、商店街の同一性とは何かをめぐる問題に対して、いままで十分な答えが出されていないと考えてよい。

ところで、ダイナミック・メンテナンスの視点は、その出発点がメンテナンスである以上、「同一性、連続性が識別される客体の中・長期的な機能の維持」が問題となる。この視点から、商店街の同一性問題をもう一度考えてみたい。商店街の継続の必要条件の一つが、「顧客が商店街と認識するだけの商店の集積が時間連続的に存在すること」であることにはおそらく異論がないだろう。顧客の認知のない商店街は商店街としての付加価値を失っているし、フリーマーケットのような短期の商店の集積もやはり商店街とよぶ必然性を持たない。後者は、商店の集積という条件を満たしているが、時間的連続性の条件を満たさず、その機能も商店街とは異なる。すなわち、商店街は、日用品に対する需要、あるいは、観光客の需要を日常的に満たし、顧客の利便を向上させるとともに、事業所の営業を効率化する機能をもつ。一方、フリーマーケットのような短期的な商店の集積は、その構成要素の特徴が商店街と異なるばかりでなく、上記の機能の点でも異なる<sup>4)</sup>。

このように、商店街の定義が大きな課題であることを認識したうえで、本稿では、「商店の集積が時間連続的に存在し、そのことに対する顧客の認知を通じて、商店、顧客の両者が利得を得るような商店の集積」として商店街を暫定的に定義していきたい。そして、商店の集積がこの要件を満たし、一定の機能を継続に果たしているときに、商店街の同一性が確保されているとして考えていく。このような定義要件を満たす商店街は現在も多く確認できるが、その一方で、「シャッター通り」化する商店街も各所で見られ、この定義から外れつつある商店街も多々確認することができる。たとえば、企業城下町として栄えた北九州市K町の駅前商店街は、駅の直近に位置し、大きなアーケードが現在でも長く続いているが、シャッター通り化しつつあり、地域振興のクリティカルポイントとなっている。この例のように、アーケードなどの構造物が存在すること、地の利があることは、商店街が継続する重要な要件ではない。構造物の維持管理をふくめ「商店の継続的な協力行動が存在すること」こそが、前述の定義要件を満たしていくための基本条件であると我々

---

た。確かに、商業ビルなどからトリックルダウンする顧客を対象とすることで、自らの投資を小さくするという戦略も合理的戦略の一つとして想定できる。しかし、商業ビルや整備された商店街との差が拡大するに従って、整備の要請、圧力が強まるだろうこと、また、トリックルダウンする顧客をより多くひきつけるためにも、協力行動が効率的になることが想定できるから、やはりこの戦略も長期的に安定とは考え難い。実際、われわれが調べた事例でも、部分的な協力行動はすでに存在し、また、組織化の道も困難ながらも継続的に模索されている。

- 4) 中東、東南アジアでみられる固定的店舗をもたない事業者からなる「マーケット」や、特定曜日ごとに日本各所で開かれる「市」は中間的性質をもつものと考えられるが、この点については稿を改めて論じたい。

は考えている。

繰り返しになるが、賑わっている商店街（後段に分析対象とした天神橋筋商店街など）を想像してみれば理解できるように、商店街の継続はその構成要素が安定的に同一であることを条件としない。また、同一の事業所内でも、その経営者、従業員も逐次的に入れ替わっている。また、商店街組織には一般的にある程度の安定性があるが、商店街組織自体も不変ではない。すなわち、商店街においては、その構成要素も組織も継時的に同一ではない。それでも、我々が、たとえば天神橋筋商店街を300年以上続く存在する歴史ある商店街として認識するのは、商店主たちの共同の営みがあり、顧客が個別商店の集積ではなく、集合的な同一性をもつ客体として認識してきたところに理由があるだろう。そして、この条件下で、顧客、事業者の両者が、商店の集積から利得を得るためのもっとも基本的な条件は、「商店間の協力行動が、商取引とは無関係に存在すること」として我々は考えている。この基本条件については、次項で改めて論じる。

### 1-3 環境適応と環境創造

本稿の最初に斉藤（2009）に依拠しながら、メンテナンスとダイナミック・メンテナンスの両概念の特徴について極めて簡潔に触れた<sup>5)</sup>。前項ではそのうちの2「同一性」の問題を論じた。ここでは、ダイナミック・メンテナンスの特徴1と3、すなわち、環境への対応について論じ、さらに4番目の特徴について新たに議論したい。

伝統的・工学的メンテナンスも、ダイナミック・メンテナンスも、環境に対応してなされる点は変わらない。まず工学的メンテナンスについて再度整理しよう。工学的メンテナンスでは、環境要因が変化せず、かつ、人工物が十分な機能をはたしてきたならば、その人工物の構成要素（部品や建材）の経年的機能劣化に対処することが主たる目的となる。このため、工学的メンテナンスでは、構成要素と同一形体・同一性能をもつ要素、あるいは同一形体でなくとも同一機能をもつ要素との入れ替えが主となる。あるいは、「構成要素の劣化を補うようなあらたな要素の付加」＝「補強」を行うこともあるだろう。また、環境要因が変化し、人工物に期待される機能が十全に果たせなくなった場合には、既存の構成要素とは機能の異なる構成要素への入れ替え（より強度の高い部品と入れ替えるなど）、あるいは構成要素間の関係の調整・再構築のプロセス（部分的な改良など）が問題とされるだろう。

---

5) 詳細については、斉藤（2009）を参照されたい。

ところで、このようなプロセスは、機械、建物との類比で、組織など社会的な存在についても同様に考えることができるし、古典的な社会制度に関する思想の一部は、社会システムを機械として考える発想を含みこんでいる。しかしながら、社会システムをめぐる言明はある原初状態への回帰に終わらない。常に、ダイナミック・メンテナンスの特徴1と対応する点、すなわち、社会現象では常に予測できない状況が生じる可能性があること、そして、社会はそれに間断なく対処し続けなければならないことを考慮してきた。さらには、そのような対処は、ダイナミック・メンテナンスの特徴3と対応するように、内部的な変更をとまなうことが指摘されてきた。このような認識は、機械論的社会観から有機的な社会観への展開、あるいは、物理学的モデルから生物学的モデルへの転換と対応するだろう。生物学的なモデルへの転換は、近年では進化ゲーム論的なモデルを構築するという形で、経済学、社会学、社会心理学など社会科学の諸分野で進展している。これらのモデルは、ある制度が不測の事態に対して比較的に安定であることを数理解析やシミュレーションで明らかにしてきたし、また、種々の戦略あるいはその複合が環境適応的であることも示してきた。単なる部品の取り換え、あるいは補強に留まらないこのような環境適応は、まさしくダイナミック・メンテナンスが工学的メンテナンスと異なるプロセスとして把握しようしているものである。

このようなモデルは、ダイナミックで柔軟な環境適応プロセスをとらえる試みとしては興味深いものであり、実際に膨大な論文が生産され続けている。残念ながら、現時点では、現実説明力の高いモデルが出力されていると言い難いけれども、環境適応的システムの判定という点では今後の展開が十分に期待できるだろう。ただし、このようなモデルも、社会システムの変動をとらえるものとしては必ずしも適切ではない。なぜなら、これらのモデル（あるいは、思想といってもいいかもしれない）は、環境受動的なものであり、外性変数と内生変数がどの時点においても一定かつ峻厳に区別できるという古典的なシステム概念のもとにあるからである。商店街を例にとればわかるけれども、現実には、のちの時点で環境となるものが、ある時点では商店街というシステムから内性的に生まれるということが起こっている。たとえば、関西に戦後60年ぶりにできた定席である繁昌亭は、天神橋筋商店街がキー・アクターの1つとなり、約2億円の寄付を集めることで実現した。そして、その経済効果は2007年9月の段階で116.3億円と推測されている。このような大きな経済効果は特例としても、アーケードの構築など全国でみられる商店街のインフラ整備活動は、複数の商店の協力があって初めて実現するものであり、後年においては商店街にとって環境、あるいは準環境要因として考えられるものである。

ところで、商店街にとっての主要な環境としては、潜在的な顧客の人数を挙げることができる。たとえば、先述の北九州市K商店街では、企業城下町としてかつて40万人の居住者がいたことが、往時の商店街の繁栄の基礎となっていた。現在、企業活動の縮小とともに人口は25%減少しているが、それにもなって商店街も衰退しつつある。この例では、生活密着型の商店街が、居住人口の減少という環境要因の変化に対応できず、危機にひんしていることが指摘されている<sup>6)</sup>。あるいは、神社、仏閣への参拝者が多数いることも、商店街にとって重要な環境要因である。あるいは、駅の乗り換えの途中に位置するなども、商店街にとって重要な環境要因になる。これらは、商店街にとって外性的なものともみなせるけれども、先述のような文化施設の設置、駅の誘致、あるいは駅名の変更・新設など、商店街自体が後年には環境要因とみなさるようなことがらの創成を積極的にこなってきた事例も種々観察される<sup>7)</sup>。このような営みは、商店街が意図的に環境を創造しようとするものであり、自らがおかれた状況のなかでの受動的な最適戦略の選択ではない。進化ゲーム論的分析をふくめ、環境受動的なモデルはこのような環境創造のプロセスを考慮していない点で不十分に見える。この点を考慮し、斉藤（2009）の3つの特徴にくわえて、ここで4番目の特徴として環境創造プロセスを挙げたい。ただし、環境創造といっても、システムを問題にする以上、内性要因と外性要因を明確に区別することが必要であるという認識において我々も異なるわけではない。時間軸の中で、後年には環境要因としてとらえられるものが、ある時点では内性的なものとして意図的に構成されることがあることを考慮すべきだという提案である。そして、このような環境創造（正確には、後年の環境要因の創造だが、以後は環境創造と略する）が可能になるためには、前項の最後に述べたのと同様に、商店街内の複数の商店の協力が不可欠である<sup>8)</sup>。

ところで、環境創造を行いながら同一性をもって商店街が商店街であり続けるためには、その基本条件として商店街内の「協力性」が必要であると我々は考えている。そして、この協力性があるとき、商店街は顧客から利便性において同一の機能を果たすものと認知され、またそれを通じて商店街内の個別商店も協力の利得を刈り取ることができている。このような視点から、商店街のダイナミック・メンテナンスのキーとして商店街の協力性を

6) 2009年3月のK町商工会議所におけるインタビューより。

7) 駅の新設において、駅名を提案し、それが実現する具体的プロセスについては、土居（2002）にその例がみらる。

8) 2008年度に与謝野ゼミ4回生が中心になっておこなった天神橋筋のインタビューでは、このような協力の重要性が指摘されとともに、協力行動を惹起することのむずかしさが多く言われている。これらのインタビューの結果は、社会関係資本をめぐる理論の単純さに対する反省になるとともに、資源動員論など運動論の視点の必要性に気付かせるものであった。

とりあげ、以下この点に関する経験的な検討を加えていきたい。ただし、以下の実証はあくまで基礎的な計量分析であり、質的分析や実験的研究を含む総合的な今後の検討のための予備的なものである。

## 2. 商店街のダイナミック・メンテナンス：天神橋筋商店街の協力性を中心とする予備的計研究

### 2-1 データの概要

以下では、天神橋筋1、2、3丁目商店連合会の協力を得て2008年初頭に行った調査のデータを用いて計量分析を行う（調査票は付録B参照）<sup>9)</sup>。天神橋筋商店街は、大阪市を中心に近い天満地域に位置する大阪天満宮の北側約2.6キロにわたる商店街であり、「日本で一番長い商店街」として知られている<sup>10)</sup>。今回の調査では、天神橋筋商店街のうち、大阪天満宮に近く、長い歴史を有する1～3丁目の商店街を対象とした。調査にあたっては、中央調査社に実査を委託し、各商店街組織に加盟する商店および非加盟の商店のすべてを対象とする全数調査を行った。調査方法は、留め置き法である。

表1 回収の状況

	対象数	完了数	回収率
(3丁目東側)	91	83	91.2%
(3丁目西側)	77	65	84.4%
(2丁目東側)	67	60	89.6%
(2丁目西側)	64	57	89.1%
(1丁目東側)	42	35	83.3%
(1丁目西側)	53	30	56.6%

各丁目の調査対象数および回収率は表1の通りである。1丁目西側を除いて8割以上の回収率であり、全体でも83.8%の高回収率となっている。このことから、以下で利用するデータは、天神橋筋1～3丁目の全体の状況をかなり忠実に反映したものとして判断できると考えている。また、分析にあたっては、丁目ごとの非回収バイアスを考慮することが

9) 商店街での調査の実施にご協力くださった天神橋筋商店連合会会長・土居年樹氏、天神橋1丁目商店街振興組合理事長・石崎安彦氏、天神橋2丁目商店街事業協同組合理事長・勢喜恭三氏、天神橋3丁目商店街振興組合理事長・重矢錐宏氏および回答いただいた方々に、この場をかりて深く感謝の意を表します。

10) 天神橋筋商店街の歴史、詳細な概要については各所で詳しく述べられているためここでは割愛した。

望ましいが、1丁目においても近年の留め置き調査の回収率よりかなり高く（68.4%）、また今回の分析は予備的なものと位置付けているため、丁目ごとの分析は行わなかった。これらの問題への対処は、以下の分析を出発点として綿密な検討をし、今後行っていく。

## 2-1 事業者の同一性の基礎評価－創業からの年数の分布の検討

前節1-2では、商店街のダイナミック・メンテナンスにおいて、その主たる構成要素である事業所が継時的に同一ではないことを前提に議論したが、データからこの点をあらためて確認したい。

表2および図1に示した「創業からの年数」の分布を見ると、創業からの年数が10年未満である事業所の比率は約50%を占めており、また、全体の7割以上が、創業からの年数が30年以下となっている。組織生態学が議論してきたような「新しさの脆弱性」が商店街にもあり、この分布が維持されると仮定するならば、きわめて大まかな議論であるが、この商店街では10年以内に半数の事業所が入れ替わっていくことになる。商店街は地理的には安定ではあるけれども、その主たる構成要素である事業所の入れ替わりは頻繁に生じていることが分かる。

表2 創業からの年数の分布

10年未満	144 (49.5)
11～20年	27 ( 9.3)
21～30年	35 (12.0)
31～40年	19 ( 6.5)
41～50年	23 ( 7.9)
51～70年	32 (11.0)
71～100年	4 ( 1.4)
101～150年	5 ( 1.7)
151～200年	0 ( 0.0)
201年以上	2 ( 0.7)

数値は人数、( )内は有効%

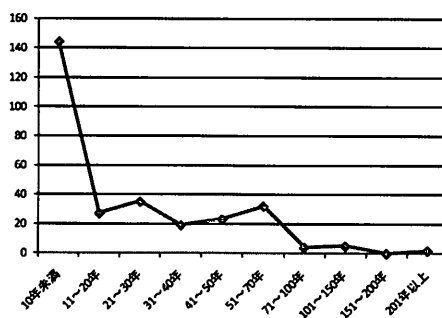


図1 創業からの年数の分布

さらに、事業の経営・管理の経緯についてみると、表3に示すように、親、親族、以前の経営者から引き継いだものの割合は34.2%、また自ら創業したものは全体の4割強を占める。この「経営・管理の経緯」ごとに、創業してからの年数をみると、年数の

平均が長い順に、「親から引き継いだ場合」=56.4年、「親族から引き継いだ場合」=26.6年、「自分で創業した場合」=16.1年となっており、「フランチャイズ、チェーンの場合」ではそれぞれ7年未満となっている（図2参照）。太平洋戦争の空襲による一時的な壊滅状態から、戦後間もなく天神橋筋商店街復興の動きが始まるが、この復興の動きから60年以上経過した中で、全体事業所年齢の平均は約24年であり、最多数を占める「自ら創業した」事業所の平均年齢は16年、また、全体の15%強を占めるフランチャイズ、チェーン店での創業年齢平均は7年を切っている。このように、天神橋筋商店街では創業やチェーン店・フランチャイズ店の参入が比較的頻繁に行われている。その一方、表2にみるように、100年以上の歴史をもつ商店も存在している。歴史と新規性が混じり合いながら、商店街を継続的に維持してきていることがここから伺える。

表3 事業所の経営・管理の経緯

	度数	有効回答%
親から引き継いだ	89人	27.1%
親以外の親族から引き継いだ	9人	2.7%
以前の経営者（親族以外）から引き継いだ	15人	4.6%
自分が創業した	142人	43.3%
フランチャイズに加盟した	12人	3.7%
チェーン店の管理者として任命された	39人	11.9%
その他	22人	6.7%
計	330人	100%

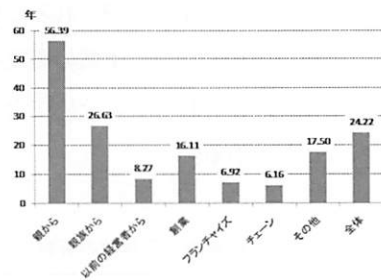


図2 経営・管理の経緯別に見た創業からの年数

## 2-2 商店街における協力性、愛着、つながりの因子の析出

1節で論じたように、商店街のダイナミック・メンテナンスを考えると、商店街内の協力性が基本条件となると我々は考えている。協力性を生み出す意識要因としては種々のものが想定できるが、社会関係資本をめぐる既存の議論を参照し、商店街内の凝集性をここで考えていきたい。社会関係資本をめぐる理論、実証分析では、種々の日常的な付き合いといった凝集性が、協力性を促進し、経済、政治的効率を上昇させることが議論されてきた<sup>11)</sup>。また、このような日常的なつながりや付き合いが特定の他者への信頼感のみなら

11) このような凝集性あるいはコミットメント関係が、一般的信頼という社会関係資本を損なうといった議論があるが、この議論をめぐる実証が再現しないなどの問題がある。また、社会関係資本のブリッジング機能について

ず他者一般に対する信頼感（一般的信頼）を上昇させることも確認されている（Yosano & Hayashi, 2005）。そのため、商店街内における商店主通しの日常的なつながりや付き合い（以下、「つながり」と省略的に記載する）についても、協力性との相関関係を検討していく。また、2006年度の天神橋筋調査1～7丁目の調査研究において、商店街への愛着心が商店街活動に対して正の効果をもつことが確認されていることから<sup>12)</sup>、商店街への心理的なコミットメントである愛着を凝集性の2つ目の概念としてとりあげ、協力性との相関関係を検討する。

商店街内の協力性、愛着、つながりは、それぞれ付録Bに示した調査票において多重指標で測定されている。これらを主成分分析にかけた結果、それぞれ1つの主成分に縮約的に表現された<sup>13)</sup>。この主成分分析の結果をうけて、図3のような3因子からなる確証的因子分析を行った。

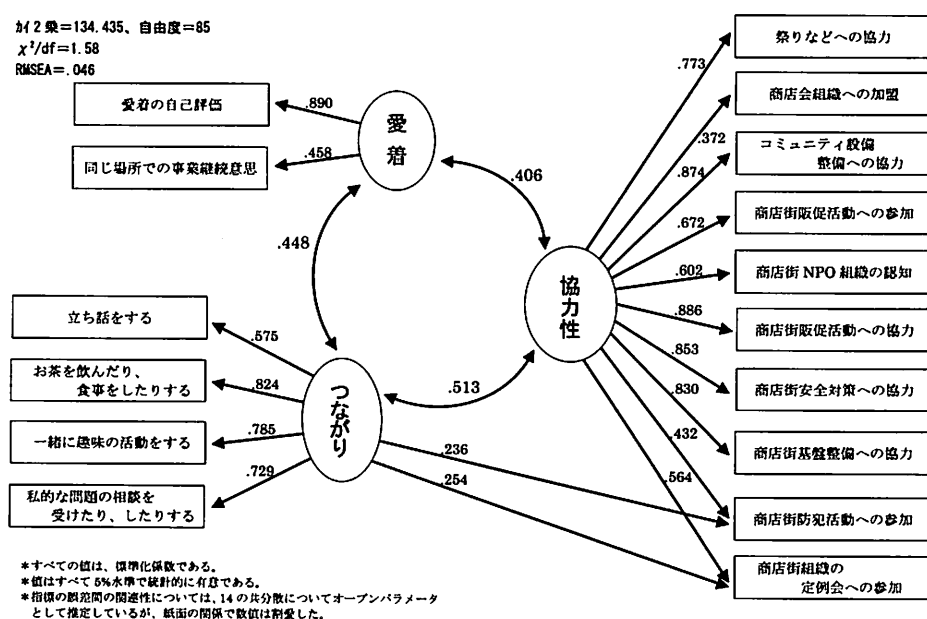


図3 協力性、愛着、つながりの測定モデル

での重要な指摘もなされているが、この点は今後の課題としたい。

- 12) 本調査研究は、2006年度関西大学社会学部社会システムデザイン実習の一環として行われたものである。調査およびその分析の詳細について「平成18年度 社会システムデザイン実習報告」を参照されたい。
- 13) ただし、愛着については、2指標のみであるため、主成分分析をおこなうことと平均をとることが同義となるため実際の分析は行わなかった。主成分分析で用いた指標は、図3の確証的因子分析のものとまったく同一である。また、図3のための予備的な主成分分析の結果については冗長となるため割愛した。

図3のモデルの適合は、 $\chi^2$ と自由度の比が1.58、RMSEAが.046であることから、かなりよいといえる。図に示したとおり、協力性は具体的な商店街活動への協力行動を表わす指標からなっており、商店街基盤の整備への協力、防犯活動・販売促進活動への協力および商店街組織への参加の程度を反映する軸となっている。この協力性の指標は、いずれも行動指標からなっており、協力性の軸は「協力行動をとる傾向性」を縮約的に表現したものととなっている。つながりは、予備的な主成分分析では、図2の左下の4指標のみから構成されていたが、修正指数を参考に有意な効果のある指標を選択した結果、協力性の2指標を含む6指標から構成された<sup>14)</sup>。また、愛着は、当初の予想通り2指標で構成された。

図に示したように、それぞれの概念間には、0.4以上の比較的強い正の相関関係がみとめられ、凝集性と協力性が正の関連をすることが示された。特に、協力とつながりの間には0.5以上の相関があり、個票を対象にした分析としてはかなり大きな相関係数が見出されている。このような凝集性と協力性の比較的強い正の相関関係を前提として、次項では、共分散構造分析のフルモデル（構造モデルと因子分析モデルの両者を含むモデル）を構成し、協力性と他の変数との相互規定関係を明らかにしていきたい。

## 2-3 商店街における協力性をめぐる因果分析

図3では、商店街における協力性、愛着、つながりの間の相関関係を明らかにした。ここでは、この3つの概念にくわえて、商店の協力性を規定すると考えられる内生、外性変数をさらに加えて因果分析をおこなう。ここで外性変数としたのは、「個人経営であるかどうか」と2-1項で分布を検討した「創業からの年数」および年齢の3つである。モデル選択の過程では、この変数のほかに経営者の年齢、性別、居住地などを外性変数として投入しその効果を検討したが、年齢の標準化係数以外は値が小さく、また、年齢以外の変数をモデルから除去するとAICが減少するため、最終的に外性変数はこの2つの変数および年齢とした。また、経営状態は「売上の変化」と「1日当たりの来客数」の2つの変数で近似した。理想的には、売上あるいは利潤を用いることが望ましいが、事業所の調査においてこれらを正確に調べることは困難が多く、またこの変数を入れた場合に回答拒否

14) 本調査は、全数調査であるから、サンプリング調査の場合のように統計的検定の結果を解釈することはできない。全数調査である以上、モデルの係数が0でないならば、効果の大きさが社会科学的な意味を持つかどうかとは別に、すべて何らかの効果をもつものとして解釈できる。ただし、全数調査の場合についても、回答誤差をめぐるとして検定をおこなうことを擁護する立場もある（土場、1994）。また、ランダム配置されておらず、ランダムサンプリングでもないサンプルに対して検定を行う例も社会心理学分野で多くみられる。筆者としてはこのような立場に必ずしもくみしないが、今回の予備分析においては、土場（1994）の議論を踏まえ、モデル選択の指標として利用した。

率が一般に増えるといった制約から、この2つの変数を調査でもちいている。ただし、「売上の変化」はあくまで変化であり、経営状態の絶対値がきわめて悪くても上昇的に変化している場合や、おおきな利潤が上がっていても変化としてはいくぶん減少といった場合があり、あくまでも調査環境に縛られた経営状態の不正確な近似であることは認めざるをえない。また、来客数にかんしても、一人当たりの売上げが業種によって異なるために、そのまま経営状態をあらわすとはいえない。この2つの変数にこのような大きな問題があり、他の方法で改めて検討が必要なことを断ったうえで、図4に示した予備的分析の考察に移りたい。

図4のモデルを構成するために、変数間の因果に両方向が想定される場合には、方向を入れ替えたモデルを構成してAICを比較し、この作業を繰り返しながらより適合のよいモデルを探索するという方法をとった。モデルのRMSEAは、通常の基準0.05よりは値が大きく、適合はかならずしもよいとは言えない。ただし、 $\chi^2$ と自由度の比による簡便な方法では許容できるモデルといえる。

モデルにおいては、協力性が、つながり、愛着の2つの凝集性の変数によって促進されている。また、また、凝集性間の関係では、つながりが愛着によって正に規定され、商店街全体への心理的コミットメントが商店街内でのつながりを増していくことが示された<sup>15)</sup>。経営状態についてみると、1日当たりの客数が協力性をいくぶん上昇させる直接効果をもつが、この効果は小さい。また、売上の上昇については、協力性への直接効果がなく、愛着をとおした間接的な正の効果となっている。経営状態については、先述の問題があるけれども、それを前提に暫定的に述べるならば、協力性を促進する決定的な直接要因ではないということになる。

外性変数としては、年齢と、創業からの年数がそれぞれ正の効果を協力性に対して持っているが、個人経営であることは協力を低下させている。事業所の特徴をあらわす2つの変数－創業からの年数と個人経営であること－が異なる方向に協力性を規定していることについて、2つの変数の間接効果も含めてさらに検討する。個人経営であることは、1日あたりの客数、売上の上昇を下げる傾向があり、これら2つの変数は直接あるいは間接に協力性と正に関連しているから、個人経営であることの間接効果の合計も負となる。このため、個人経営であることの総効果は、負の直接効果と負の間接効果の合計となり、協力性を低下させる方向に働く。一方、創業からの年数が長いほど、つながり、愛着、売上の

15) つながりと愛着については、逆の因果も想定できるが、逆向きのパスを想定したモデルの適合度が低かったため、この方向のモデルを採用した。

カイ2乗=340.171、自由度=160

$\chi^2/df=2.13$

RMSEA=.059

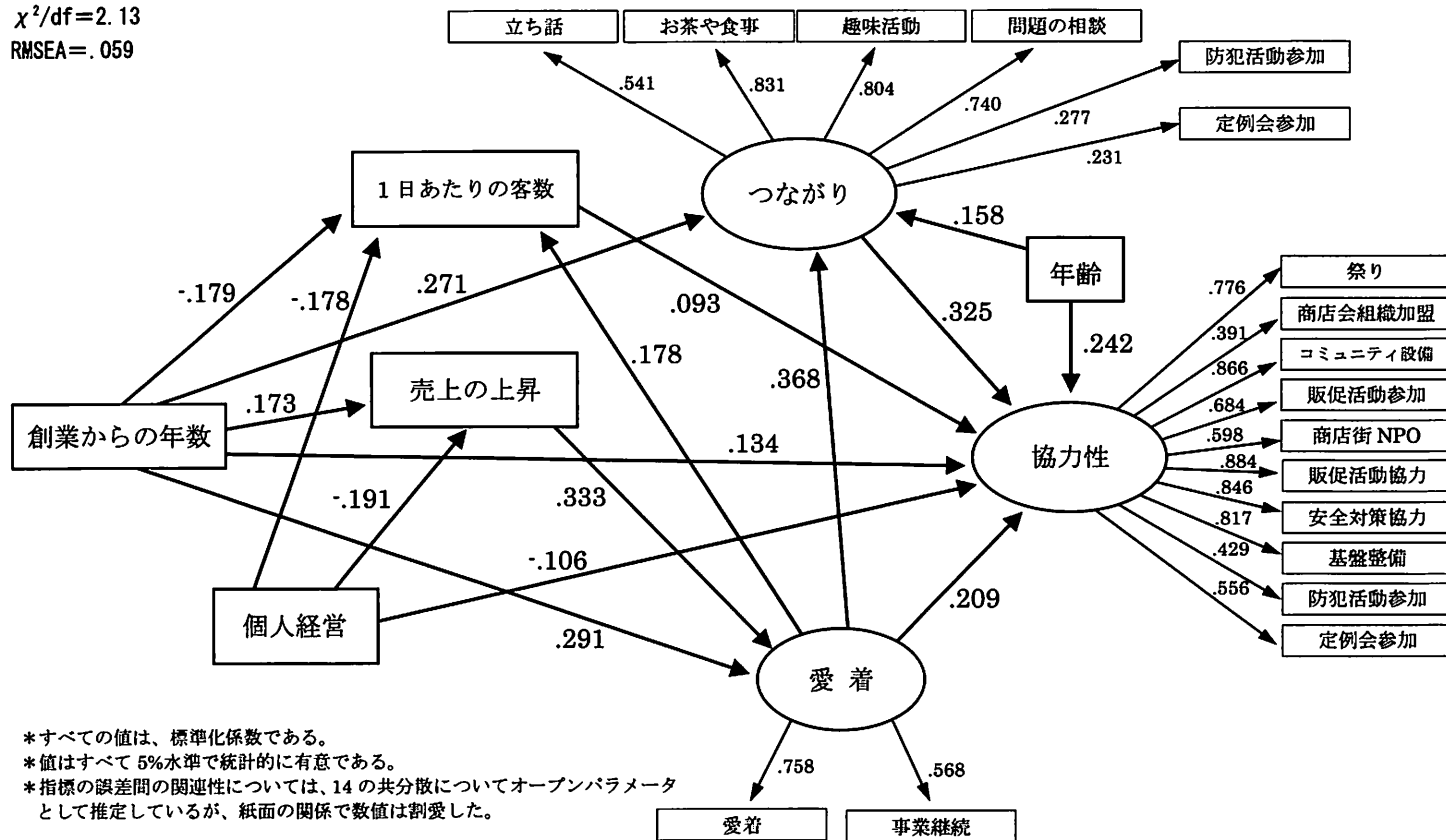


図4 協力性の共分散構造分析による因果分析

上昇のいずれも促進されており、これらの変数を通した間接効果は協力性に対して正となる。ただし、1日当たりの客数に対しては負に規定しており、1日当たりの客数を通した協力性への間接効果は負となる。ただし、1日あたりの客数から協力性への効果はきわめて小さいから、この負の間接効果も小さい。直接効果、正・負の間接効果のすべてを考えた総効果では、比較的大きな正の総効果を創業からの年数は協力性に対してもっている。

創業からの年数が長い商店ほど、事業内容のためか1日当たりの客数が少ない一方で、売上において安定しており、愛着、つながりが強く、協力性が高い。一方、商店街の主たる構成員（比率のうえで）である個人経営事業所であることは、協力性を低下させる。創業からの年数をコントロールしたモデルにおいて、個人経営事業所であることが協力性を下げることは予想外な結果であった。しかし、「個人経営事業所の経営上の基盤が脆弱であること」、また、「外部からの新規創業者を多く含むために、つながり、愛着が必ずしも高くないこと」をモデルは示唆しており、この点で了解できるものとなっている。

### 3. 商店街が商店街でありつづけるために

本稿では、ダイナミック・メンテナンスの視点から商店街が商店街でありつづけることを考えてきた。そして、商店街内部の協力性を、商店街のダイナミック・メンテナンスの基本条件として提示した。このような枠組みで行った実証分析の結果は、愛着やつながりなど、商店街内部の凝集性の高さが、協力性を促進するという予想された結果を示す一方で、商店街が商店街でありつづけることの難しさを示唆している。すなわち、個人経営事業者の協力性が低いという問題である。商店街振興会や協同組合の聞き取り調査において、商店街内で合意や協力を得ることのむずかしさについてしばしば言及され、その理由としては、相互独立的な事業所がさまざまな意図をもって商店街を構成していることが挙げられている。計量分析の結果は、このような言明に対応するものといえる。また、計量分析の結果は、創業からの年数が長いことが協力性を高めることを示しているが、この両者を考慮するなら以下のように結論できるだろう。すなわち、新規参入する自己創業の商店が多いほど、いいかえれば、商店が頻繁に入れ替わり規模の小さい事業所がたちあられては消えていく状況が頻出するほど、商店街の協力性は低くなり、商店街が商店街としてありつづけることが困難になっていくということである。

1節で議論したように、商店が入れ替わること自体は、商店街の同一性が失われることをそのまま意味しない。しかしながら、商店の入れ替わりの率が高く、入れ替わりまでの期間が短いほど、商店街は協力性を失い、結果、その同一性の基盤を失っていく。商店街

が、ダイナミック・メンテナンスし続け、商店街であり続けるためには、「経営基盤を確実なものとしながら、商店街とともに歴史を刻んでいくような商店」が育っていくことが必要であるということであろう。

#### 引用文献

- 土場学 1994 「社会調査とデータ解析ワンポイント講座 (2): 統計的検定の考え方」『理論と方法』9 (2): 223-226.
- 土居年樹 2002 『天神さんの商店街—街いかし人いかし』東方出版
- 橋爪大三郎・志田基与師・恒松直幸 1984 「危機に立つ構造・機能理論—わが国における展開とその問題点」『社会学評論』35-1 (137): 2-18
- 齊藤了文 2003 「社会システムデザインの実験: ダイナミック・メンテナンスプロジェクト」『関西大学社会学部紀要』35 (1): 123-144.
- 齊藤了文 2009 「ダイナミック・メンテナンスの概念」『関西大学社会学部紀要』(印刷中)
- 盛山和夫 2000 「基礎づけ主義でも脱構築でもなく: 構想としての探求」『理論と方法』15 (1): 3-16.
- 富永健一 1995 『行為と社会システムの理論: 構造—機能—変動理論をめざして』東京大学出版会
- Yosano, A. & N. Hayashi 2005 "Social Stratification, Intermediary Groups and Creation of Trustfulness." *Sociological Theory and Methods* 37: 27-44.

※本論文は、平成19年度関西大学重点領域研究「ダイナミック・メンテナンスの観点での社会システムデザイン」の研究費支援を受けた。

—2009.1.31受稿—

【付録 A】 「天神橋筋商店街 1, 2, 3 丁目の地域社会と生活に関する調査」単純集計表

- 1) 選択肢の下に数字は回答者数を、0の数字は有効回答に占める比率(%)を表わす。
- 2) 多重回答については、比率を求めるに際し、母数として、総回答数ではなく、回答者数を用いた。
- 3) 本集計表では、自由回答の集計は割愛した。
- 4) 年齢などカテゴリー数が多い変数は、より少ないカテゴリーに最集計しなおした結果を記載した。
- 5) 犯罪の被害回数などについては、平均・標準偏差を記載した。

問 1 あなたの従業上の地位を教えてください。(例えば、商店主、商店主の息子、商店主の妻など) 【自由回答】

問 2 あなたは、どのようにして、この店（事業所）を経営、管理するようになりましたか。

1. 親から引き継いだ	2. 親以外の親族から引き継いだ	3. 以前の経営者(親族以外) から引き継いだ	4. 自分が創業した
89 (27.1)	9 (2.7)	15 (4.6)	142 (43.3)
5. フランチャイズに 加盟した	6. チェーン店の管理者として 任命された	7. その他	
12 (3.7)	39 (11.9)	22 (6.7)	

問 3 あなたがこの店（事業所）を経営、管理するようになったのは、何歳のときでしたか。

10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上
1 (0.3)	77 (23.3)	117 (35.5)	65 (19.7)	38 (11.5)	32 (9.7)

問 4 この店（事業所）の営業内容を教えてください。 【自由回答】

問 5 この店（事業所）の主たる事業はどのような形態で営まれていますか。

1. 株式会社	2. 有限会社	3. 個人経営（自営業）	4. その他
90 (27.3)	39 (11.8)	198 (60.0)	3 (0.9)

問 6 この店（事業所）の土地建物の所有関係を教えてください。

1. 土地建物ともに 自己所有	2. 土地は自己物件だが 建物は賃貸	3. 建物は自己物件だが 土地は賃貸	4. 土地建物ともに 賃貸	5. その他
84 (25.5)	2 (0.6)	26 (7.9)	209 (63.3)	8 (2.4)

問 7 この店（事業所）には支店や本店、チェーン店がありますか。ある場合は、この店を除いた店舗数（事業所数）を教えてください。天神橋筋内外に支店や本店、チェーン店がある場合は「1」「2」両方に○をつけ、それぞれの店舗数（事業所数）を教えてください。 【店舗数略】

1. 天神橋筋内に他の支店、本店がある	2. 天神橋筋以外に他の支店、本店がある	3. 支店はない
41 (12.6)	78 (23.9)	227 (69.6)

問 8 この店（事業所）が創業してから[チェーン店・支店の場合はこの店（事業所）が開店してから]、何年になりますか。

10 年未満	11～20 年	21～30 年	31～40 年	41～50 年
144 (49.5)	27 (9.3)	35 (12.0)	19 (6.5)	23 (7.9)
51～70 年	71～100 年	101～150 年	151～200 年	201 年以上
32 (11.0)	4 (1.4)	5 (1.7)	0 (0.0)	2 (0.7)

問 9 この店（事業所）が創業してから、業種や業態を変更したことがありますか。

1. いいえ	2. はい
311 (94.2)	19 (5.8)

問 10 この店（事業所）の従業員は、店主の方・家族従業員を含めて全体で何人いますか。

1 人	2～5 人	6～10 人	11～20 人	21～50 人	50 人以上
41 (12.6)	205 (62.9)	41 (12.6)	29 (8.9)	6 (1.8)	4 (1.2)

問11 この店（事業所）の従業員は、どのような雇用形態ですか。（○はいくつでも）

1. 正社員 2. パート・アルバイト 3. 契約社員 4. 派遣社員 5. 家族従業者 6. その他  
138 (44.8) 170 (55.2) 8 (2.6) 6 (1.9) 131 (42.5) 9 (2.9)

問12 過去3年間について、全体としてこの店（事業所）の売り上げはいかがですか。

1. 上がっている 2. やや上がっている 3. 横ばい 4. やや下がっている 5. 下がっている  
20 (6.3) 59 (18.7) 79 (25.0) 64 (20.3) 94 (29.7)

問13 この店（事業所）の売り上げのうち、卸売りやインターネット販売などといった、店頭売り以外の販売による売り上げは、売り上げ全体の何割程度を占めますか。

1. なし 2. 2割未満 3. 2割以上5割未満 4. 5割以上7割未満 5. 7割以上  
78 (24.8) 50 (15.9) 26 (8.3) 27 (8.6) 25 (7.9)

問14 あなたのお店（事業所）の一日あたりの客数はおおよそ何人くらいですか。一週間の曜日や月によって違うときは、だいたいの平均でお答えください。

1. 10人以下 2. 11～20人 3. 21～30人 4. 31～40人  
78 (24.8) 50 (15.9) 26 (8.3) 27 (8.6)  
5. 41～50人 6. 51～70人 7. 71～100人 8. 100人以上  
25 (7.9) 26 (8.3) 34 (10.8) 49 (15.6)

問15 あなたのお店（事業所）の顧客は、以下のどの年齢層が一番多いですか。

1. 15歳未満 2. 15～19歳 3. 20代 4. 30代 5. 40代 6. 50代 7. 60代以上  
1 (0.4) 19 (7.1) 65 (24.2) 85 (31.6) 77 (28.6) 22 (8.2) 1 (0.4)

問16 あなたは、顧客と世間話などの会話をどの程度されますか。

1. よくする 2. ときどきする 3. あまりしない 4. しない  
113 (34.5) 173 (52.7) 30 (9.1) 12 (3.7)

問17 顧客全体のうち、小学生以下の子供連れ、65歳以上の高齢者は約何割ですか。

(1) 小学生以下の子供連れ： 平均 1.10 割・標準偏差 1.06

(2) 65歳以上の高齢者： 平均 2.27 割・標準偏差 1.82

問18 では、顧客全体のうち、常連客は約何割ですか。 平均 6.03 割・標準偏差 2.40

問19 あなたのお店（事業所）では、以下のお付き合いを、常連客とどの程度していますか。以下のそれぞれについてお答えください。

	よくする	ときどきする	あまりしない	しない
a) 立ち話をする	55 (17.2)	165 (51.7)	63 (19.7)	36 (11.3)
b) 一緒にお茶を飲んだり、食事をしたりする	10 (3.2)	52 (16.7)	65 (20.8)	185 (59.3)
c) 一緒に趣味の活動をする	6 (1.9)	40 (12.8)	41 (13.1)	225 (72.1)
d) 私的な問題の相談を受けたり、したりする	6 (1.9)	60 (19.2)	85 (27.2)	162 (51.8)

問20 あなたは、あなたのお店（事業所）の防犯対策は十分だと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない  
38 (11.6) 104 (31.6) 140 (42.6) 47 (14.3)

問 21 あなたのお店（事業所）では防犯対策としてどのようなことをしていますか。（〇はいくつでも）

- |                                  |                                  |                                 |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 店舗として警備会社と契約している<br>44 (13.5) | 2. 店舗内に防犯カメラを設置している<br>35 (10.7) | 3. 店舗内の見通しをよくしている<br>106 (32.4) |
| 4. ほかの店と情報を交換している<br>49 (15.0)   | 5. その他<br>24 (7.3)               | 6. 特になにもしていない<br>135 (41.3)     |

問 22 あなたのお店（事業所）では、過去 3 年間に、以下の犯罪被害が何回ありましたか。

- |                                 |                            |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1. 万引き・食い逃げ 平均 0.94 回・標準偏差 2.78 | 4. 空き巣 平均 0.09 回・標準偏差 0.34 |
| 2. 自販機あらし 平均 0.03 回・標準偏差 0.22   | 5. その他 平均 0.15 回・標準偏差 0.52 |
| 3. シャッターの落書 平均 0.01 回・標準偏差 0.09 |                            |

問 23 「あなたのお店（事業所）のある丁目の商店街」の治安についてどう思いますか。

- |                       |                          |                         |                     |
|-----------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------|
| 1. 治安はよい<br>83 (25.5) | 2. 治安はややよい<br>171 (52.6) | 3. 治安はやや悪い<br>65 (20.0) | 4. 治安は悪い<br>6 (1.8) |
|-----------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------|

問 24 あなたは防犯パトロール、防犯啓発など、商店街の防犯の取り組みに参加していますか。

- |                      |                         |                          |                          |                                    |
|----------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------------------|
| 1. よく参加する<br>5 (1.5) | 2. ときどき参加する<br>27 (8.2) | 3. あまり参加しない<br>60 (18.3) | 4. 全く参加しない<br>132 (40.2) | 5. そのような取り組みはない・知らない<br>104 (31.7) |
|----------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------------------|

問 25 あなたのお店（事業所）では、商店街の「売り出し」、「福引き」などの販売促進活動にどの程度参加していますか。

- |                           |                         |                           |                       |                        |
|---------------------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 積極的に参加する<br>120 (37.2) | 2. たまに参加する<br>73 (22.6) | 3. ほとんど参加しない<br>37 (11.5) | 4. 参加しない<br>61 (18.9) | 5. 販促活動はない<br>32 (9.9) |
|---------------------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------|------------------------|

問 26 あなたは、「売り出し」、「福引き」などの販売促進活動への参加について、どう思いますか。

- |                                      |  |   |                         |
|--------------------------------------|--|---|-------------------------|
| 1. 商店街の店舗ならば、<br>参加すべきだ<br>70 (21.8) | 2. 商店街の店舗ならば、<br>参加したほうがよい<br>123 (38.3) | 3. 商店街の店舗であっても、<br>必ずしも参加する必要はない<br>87 (27.1) | 4. 販促活動はない<br>41 (12.8) |
|--------------------------------------|--|---|-------------------------|

問 27 あなたは、商店街の「売り出し」、「福引き」などの販売促進活動が、商店同士のつながりを維持したり、つくったりすることに役立っていると思いますか。

- |                          |                           |                             |                         |
|--------------------------|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 1. かなり役立っている<br>30 (9.4) | 2. 少し役立っている<br>111 (34.7) | 3. あまり役立っていない<br>113 (35.3) | 4. 役立っていない<br>66 (20.6) |
|--------------------------|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|

問 28 あなたのお店（事業所）では、以下のお付き合いを、天神橋筋商店街の他店舗の店主や従業員の方々との程度していますか。以下のそれぞれについてお答えください。

	よくする	ときどき する	あまり しない	しない
a) 立ち話をする・	58 (18.1)	168 (52.5)	58 (18.1)	36 (11.3)
b) 一緒にお茶を飲んだり、食事をしたりする	18 (5.8)	52 (16.6)	69 (22.0)	174 (55.6)
c) 一緒に趣味の活動をする	5 (1.6)	35 (11.2)	60 (19.2)	213 (68.1)
d) 私的な問題の相談を受けたり、したりする	9 (2.9)	42 (13.3)	80 (25.4)	184 (58.4)

問 29 天神橋筋商店街（1～7 丁目）の中で、あなたのお店（事業所）と商売上恒常的な取引関係のあるお店（事業所）の名前と丁目を取引関係が強い順に 5 つまで教えてください。（飲食店にお客さんとして訪れるといったことは含みません）【自由回答】

問30 天神橋筋商店街（1～7丁目）の中で、一緒に食事をしたり、個人的な相談をしあうなど、あなた自身が付き合いのある商店主、事業主、従業員、あるいはその家族の方について、そのお店（事業所）の名前と丁目を付き合いの深い順に5つまで教えてください。【自由回答】

問31 「あなたのお店（事業所）がある丁目の商店街」に、あなたはどの程度活気を感じますか。

- |          |                      |                      |           |
|----------|----------------------|----------------------|-----------|
| 1. 活気がある | 2. どちらかといえば<br>活気がある | 3. どちらかといえば<br>活気がない | 4. 活気がない  |
| 23 (7.1) | 121 (37.2)           | 146 (44.9)           | 35 (10.8) |

問32 「あなたのお店（事業所）がある丁目の商店街」の、以下のそれぞれについて、あなたはどの程度満足していますか。

	かなり満足 している	やや満足 している	あまり満足 していない	満足 していない
a) 人 出	16 (5.1)	138 (44.2)	118 (37.8)	40 (12.8)
b) 店舗数	26 (8.4)	140 (45.3)	112 (36.2)	31 (10.0)
c) 店舗の種類	13 (4.2)	92 (30.0)	142 (46.3)	60 (19.5)
d) 施設、設備（アーケード、街路灯、エレベーターなど）	40 (12.9)	162 (52.1)	72 (23.2)	37 (11.9)
e) 雰囲気	20 (6.4)	149 (47.8)	108 (34.6)	35 (11.2)
f) 顧客層	29 (9.3)	151 (48.2)	112 (35.8)	21 (6.7)

問33 あなたは天神橋筋商店街にどの程度の愛着心がありますか。

- |            |            |           |         |
|------------|------------|-----------|---------|
| 1. 大変ある    | 2. ややある    | 3. あまりない  | 4. ない   |
| 122 (37.0) | 164 (49.7) | 36 (10.9) | 8 (2.4) |

問34 あなたはNPO法人「天神天満町街トラスト」をご存知ですか。

- |            |                                  |                     |                    |
|------------|----------------------------------|---------------------|--------------------|
| 1. 知らない    | 2. 名前は知っているが、<br>活動内容についてはよく知らない | 3. おおよそその活動内容は知っている | 4. 活動内容についてよく知っている |
| 171 (52.1) | 99 (30.2)                        | 43 (13.1)           | 15 (4.6)           |

問35 あなたのお店（事業所）は商工会議所の会員ですか。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. はい     | 2. いいえ     |
| 55 (17.4) | 261 (82.6) |

問36 あなたのお店（事業所）は同業種で構成されている  
同業組合や業界団体に加盟していますか。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. はい     | 2. いいえ     |
| 96 (30.7) | 217 (69.3) |

問37 あなたのお店（事業所）は、  
地元の商店街組織に加盟していますか。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 加盟している  | 2. 加盟していない |
| 238 (76.8) | 72 (23.2)  |

問37 付問 加盟していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- |                     |               |                             |                |           |
|---------------------|---------------|-----------------------------|----------------|-----------|
| 1. 加盟したいが<br>財政的に困難 | 2. 加盟に意味を感じない | 3. 加盟しても<br>新規加入者の要求が反映されない | 4. 支店なので決定権がない | 5. その他    |
| 11 (18.0)           | 24 (39.3)     | 4 (6.6)                     | 13 (21.3)      | 15 (24.6) |

問38 あなたのお店（事業所）の方で、地元の商店街組織  
の役職経験のある方はいらっしゃいますか。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. いらない    | 2. いる     |
| 245 (76.1) | 77 (23.9) |

問39 あなたは地元の商店街組織の定例会、総会などの会合、寄り合いに参加していますか。

- |               |               |               |              |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1. ほぼ毎回参加している | 2. ときどき参加している | 3. あまり参加していない | 4. 全く参加していない |
| 63 (19.4)     | 50 (15.4)     | 52 (16.0)     | 159 (49.1)   |

問 40 あなたは地元の商店街組織の活動にどの程度協力していますか。以下のそれぞれについてお答えください。

	協力 している	やや協力 している	あまり協力 していない	協力 していない
a) 販売促進活動・	67 (21.1)	77 (24.2)	75 (23.6)	99 (31.1)
b) 防犯・安全対策	44 (14.0)	57 (18.1)	96 (30.5)	118 (37.5)
c) 商業基盤（アーケード、街路灯など）の整備	62 (19.6)	57 (18.0)	82 (25.9)	115 (36.4)
d) コミュニティ設備（会議室など）の運営・管理	33 (10.6)	37 (11.9)	84 (26.9)	158 (50.6)
e) イベントやお祭り	73 (22.8)	85 (26.6)	69 (21.6)	93 (29.1)

問 41 あなたは地元の商店街組織にどの程度期待していますか。以下のそれぞれについてお答えください。

	期待する	やや期待 する	あまり期待 しない	期待しない
a) 販売促進活動	67 (21.3)	114 (36.3)	88 (28.0)	45 (14.3)
b) 防犯・安全対策	102 (32.3)	128 (40.5)	60 (19.0)	26 (8.2)
c) 商業基盤（アーケード、街路灯など）の整備	93 (29.6)	135 (43.0)	56 (17.8)	30 (9.6)
d) コミュニティ設備（会議室など）の運営・管理	55 (18.1)	107 (35.2)	94 (30.9)	48 (15.8)
e) イベントやお祭り	107 (33.8)	120 (37.9)	57 (18.0)	33 (10.4)
f) 商店間の交流の促進	71 (22.7)	110 (35.1)	91 (29.1)	41 (13.1)

問 42 今後も、現在の場所で商売を続けたいと思いますか。

1. ぜひ続けたい	2. どちらかといえば続けたい	3. どちらかといえば移りたい	4. ぜひ移りたい
172 (53.4)	118 (36.6)	28 (8.7)	4 (1.2)

問 43 あなたはお店（事業所）の今後の継続について、どのようにしたいと考えていますか。

1. 親族に継がせたい	2. 従業員に継がせたい	3. 自分の代で店をたたむ	4. 未定	5. その他
54 (16.8)	23 (7.2)	57 (17.8)	175 (54.5)	12 (3.7)

問 44 では実際に、あなたのお店（事業所）の後継者はすでに決まっていますか。

1. 子供が継ぐ予定	2. 子供以外の親族が継ぐ予定	3. 従業員が継ぐ予定	4. 決まっていない	5. その他
43 (14.0)	2 (0.7)	8 (2.6)	244 (79.5)	10 (3.3)

問 45 あなたの性別は。

1. 男性	2. 女性
246 (74.5)	84 (25.5)

問 46 現在、満年齢でいくつですか。

20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
18 (5.5)	68 (20.9)	60 (18.5)	68 (20.9)	73 (22.5)	38 (11.7)

問 47 お住まいは以下のどれにあたりますか。

1. 店舗と同じ場所	2. 店舗の周辺（徒歩圏内）	3. 大阪北区内	4. 北区以外の市内	5. 大阪市外
78 (23.8)	60 (18.3)	37 (11.3)	62 (18.9)	91 (27.7)

問 48 最後に通われた学校（中退を含む）は以下のどれにあたりますか。

- |                                     |                       |                           |                       |                         |
|-------------------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. 旧制母常小学校<br>0 (0.0)               | 2. 旧制高等小学校<br>2 (0.6) | 3. 旧制中学校・高等女学校<br>5 (1.6) | 4. 実業学校<br>0 (0.0)    | 5. 師範学校<br>0 (0.0)      |
| 6. 旧制高校・専門学校・<br>高等師範学校<br>28 (9.0) | 7. 旧制大学<br>3 (1.0)    | 8. 新制中学校<br>9 (2.9)       | 9. 新制高校<br>119 (38.1) | 10. 新制短大・高専<br>22 (7.1) |
| 11. 新制大学<br>110 (35.3)              | 12. 新制大学院<br>6 (1.9)  | 13. その他<br>8 (2.6)        |                       |                         |

問 49 お子さんはいらっしゃいますか。

1. いる 236 (72.4)	2. いない 90 (27.6)
---------------------	---------------------

付問 1 男のお子さん 平均 1.07 人・標準偏差 0.76 女のお子さんは 平均 1.03 人・標準偏差 0.87

付問 2 お子さんの中で、大学まで進学したお子さんがいらっしゃいますか。

- |                                |   |  |
|--------------------------------|---|--|
| 1. 大学まで進学した子供がいる<br>135 (63.1) | 2. 子供は(いずれも)18 歳未満だが、<br>大学進学を考えている子供はいる<br>47 (22.0) | 3. 大学まで進学した子供も<br>大学進学予定の子供もいない<br>32 (15.0) |
|--------------------------------|---|--|

以上

【付録 B】

「天神橋筋商店街 1， 2， 3 丁目の地域社会と生活に関する調査」

平成 20 年 2 月

【調査企画】 関西大学 社会学部  
教 授 与謝野 有紀  
准教授 橋本 理  
【調査実施】 社団法人 中央調査社

【ご回答にあたって】

- 記入は黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンをお願いいたします。
- 欄外の(7) (35)などの記号はコンピューターで処理するときの記号ですので、気になさらずにお答えください。
- 一部の方にだけお答えいただく質問もありますが、その場合は指示にしたがってお進みください。
- お答え方法は、あてはまる回答項目の番号（1、2……）を○でかこむものがほとんどですが、一部数字を記入していただく場合、自由回答になっている場合もあります。

ご回答いただいた調査票は社団法人 中央調査社の\_\_\_\_\_が

\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日\_\_\_\_\_曜日 に受け取りにあがります。

管理番号				点検

(1)-(4)

◆はじめに、あなたのお店（事業所）での立場と、お店（事業所）の概要についておたずねします。

(5)=1

問 1 あなたの従業上の地位を教えてください。（例えば、商店主、商店主の息子、商店主の妻など）

(6)

--

問 2 あなたは、どのようにして、この店（事業所）を経営、管理するようになりましたか。

(7)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 親から引き継いだ            | 5. フランチャイズに加盟した      |
| 2. 親以外の親族から引き継いだ       | 6. チェーン店の管理者として任命された |
| 3. 以前の経営者（親族以外）から引き継いだ | 7. その他               |
| 4. 自分が創業した             | (できるだけ具体的に)          |

)

問 3 あなたがこの店（事業所）を経営、管理するようになったのは、何歳のときでしたか。 満 \_\_\_\_\_歳

(8) (9)

問 4 この店（事業所）の営業内容を教えてください。

(10)

(外食業、サービス業などの大きなくくりではなく、生活用品販売、中華料理店、美容院などできるだけ詳しくお書きください)

--

問5 この店（事業所）の主たる事業はどのような形態で営まれていますか。

(11)

1. 株式会社    2. 有限会社    3. 個人経営（自営業）    4. その他（具体的に

）

問6 この店（事業所）の土地建物の所有関係を教えてください。

(12)

1. 土地建物ともに自己所有                      4. 土地建物ともに賃貸  
2. 土地は自己物件だが建物は賃貸              5. その他（具体的に  
3. 建物は自己物件だが土地は賃貸

）

問7 この店（事業所）には支店や本店、チェーン店がありますか。ある場合は、この店を除いた店舗数（事業所数）を教えてください。天神橋筋内外に支店や本店、チェーン店がある場合は「1」「2」両方に○をつけ、それぞれの店舗数（事業所数）を教えてください。

(13)

1. 天神橋筋内に他の支店、本店がある（合計 \_\_\_\_\_ 店）  
2. 天神橋筋以外に他の支店、本店がある（合計 \_\_\_\_\_ 店）  
3. 支店はない

(14) (15)

(16) - (19)

問8 この店（事業所）が創業してから[チェーン店・支店の場合はこの店（事業所）が開店してから]、何年になりますか。

(20) - (22), (23) - (26)

\_\_\_\_\_ 年（創業は西暦 \_\_\_\_\_ 年）

問9 この店（事業所）が創業してから、業種や業態を変更したことがありますか。

(27)

1. いいえ    2. はい（変更前の業種・業態をできるだけ具体的に

）

問10 この店（事業所）の従業員は、店主の方・家族従業員を含めて全体で何人いますか。 \_\_\_\_\_ 人

(28) - (30)

問11 この店（事業所）の従業員は、どのような雇用形態ですか。（○はいくつでも）

(31)

1. 正社員                      4. 派遣社員  
2. パート・アルバイト      5. 家族従業員  
3. 契約社員                  6. その他（具体的に

）

問12 過去3年間について、全体としてこの店（事業所）の売り上げはいかがですか。

(32)

1. 上がっている    2. やや上がっている    3. 横ばい    4. やや下がっている    5. 下がっている

問13 この店（事業所）の売り上げのうち、卸売りやインターネット販売などといった、店頭売り以外の販売による売り上げは、売り上げ全体の何割程度を占めますか。

(33)

1. なし    2. 2割未満    3. 2割以上5割未満    4. 5割以上7割未満    5. 7割以上

◆お店（事業所）の顧客についておたずねします。

問 14 あなたのお店（事業所）の一日あたりの客数はおおよそ何人くらいですか。一週間の曜日や月によって違うときは、だいたいの平均でお答えください。

(34)

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1. 10 人以下  | 4. 31~40 人 | 7. 71 人~100 人 |
| 2. 11~20 人 | 5. 41~50 人 | 8. 100 人以上    |
| 3. 21~30 人 | 6. 51~70 人 |               |

問 15 あなたのお店（事業所）の顧客は、以下のどの年齢層が一番多いですか。

(35)

1. 15 歳未満    2. 15~19 歳    3. 20 代    4. 30 代    5. 40 代    6. 50 代    7. 60 代以上

問 16 あなたは、顧客と世間話などの会話をどの程度されますか。

(36)

1. よくする    2. ときどきする    3. あまりしない    4. しない

問 17 顧客全体のうち、小学生以下の子供連れ、65 歳以上の高齢者は約何割ですか。

(37) (38), (39) (40)

- (1) 小学生以下の子供連れ：約（    ）割    (2) 65 歳以上の高齢者：約（    ）割

(41) (42)

問 18 では、顧客全体のうち、常連客は約何割ですか。    約（    ）割

問 19 あなたのお店（事業所）では、以下のお付き合いを、常連客とどの程度していますか。以下のそれぞれについてお答えください。

	よくする	ときどき する	あまり しない	しない	
a) 立ち話をする …………… →	1 ……………	2 ……………	3 ……………	4 ……………	(43)
b) 一緒にお茶を飲んだり、食事をしたりする … →	1 ……………	2 ……………	3 ……………	4 ……………	(44)
c) 一緒に趣味の活動をする …………… →	1 ……………	2 ……………	3 ……………	4 ……………	(45)
d) 私的な問題の相談を受けたり、したりする … →	1 ……………	2 ……………	3 ……………	4 ……………	(46)

◆治安や防犯についておたずねします。

問 20 あなたは、あなたのお店（事業所）の防犯対策は十分だと思いますか。

(47)

1. そう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. そう思わない

問21 あなたのお店（事業所）では防犯対策としてどのようなことをしていますか。（○はいくつでも）

(48)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 店舗として警備会社と契約している | 4. ほかの店と情報を交換している |
| 2. 店舗内に防犯カメラを設置している | 5. その他（具体的に       |
| 3. 店舗内の見通しをよくしている   | 6. 特になにもしていない     |

問22 あなたのお店（事業所）では、過去3年間に、以下の犯罪被害が何回ありましたか。

(49), (50) - (59)

- |             |       |             |           |
|-------------|-------|-------------|-----------|
| 1. 万引き・食い逃げ | ( ) 回 | 4. 空き巣      | ( ) 回     |
| 2. 自販機あらし   | ( ) 回 | 5. その他（具体的に | ( ) ( ) 回 |
| 3. シャッターの落書 | ( ) 回 |             |           |

問23 「あなたのお店（事業所）のある丁目の商店街」の治安についてどう思いますか。

(60)

1. 治安はよい    2. 治安はややよい    3. 治安はやや悪い    4. 治安は悪い

問24 あなたは防犯パトロール、防犯啓発など、商店街の防犯の取り組みに参加していますか。

(61)

- |        |          |          |         |                       |
|--------|----------|----------|---------|-----------------------|
| 1.     | 2.       | 3.       | 4.      | 5.                    |
| よく参加する | ときどき参加する | あまり参加しない | 全く参加しない | そのような取り組み<br>はない・知らない |

◆商店街の販売促進活動についておたずねします。

問25 あなたのお店（事業所）では、商店街の「売り出し」、「福引き」などの販売促進活動にどの程度参加していますか。

(62)

- |          |         |           |       |         |
|----------|---------|-----------|-------|---------|
| 1.       | 2.      | 3.        | 4.    | 5.      |
| 積極的に参加する | たまに参加する | ほとんど参加しない | 参加しない | 販促活動はない |

問26 あなたは、「売り出し」、「福引き」などの販売促進活動への参加について、どう思いますか。

(63)

1. 商店街の店舗ならば、参加すべきだ
2. 商店街の店舗ならば、参加したほうがよい
3. 商店街の店舗であっても、必ずしも参加する必要はない
4. 販促活動はない

問27 あなたは、商店街の「売り出し」、「福引き」などの販売促進活動が、商店同士のつながりを維持したり、つくったりすることに役立っていると思いますか。

(64)

1. かなり役立っている    2. 少し役立っている    3. あまり役立っていない    4. 役立っていない

◆店舗間の交流、商店街の様子などについておたずねします。

問 28 あなたのお店（事業所）では、以下のお付き合いを、天神橋筋商店街の他店舗の店主や従業員の方々との程度していますか。以下のそれぞれについてお答えください。

	よくする	ときどき する	あまり しない	しない	
a) 立ち話をする …………… →	1 ……………	2 ……………	3 ……………	4 ……………	(65)
b) 一緒にお茶を飲んだり、食事をしたりする …→	1 ……………	2 ……………	3 ……………	4 ……………	(66)
c) 一緒に趣味の活動をする …………… →	1 ……………	2 ……………	3 ……………	4 ……………	(67)
d) 私的な問題の相談を受けたり、したりする …→	1 ……………	2 ……………	3 ……………	4 ……………	(68)

問 29 天神橋筋商店街（1～7丁目）の中で、あなたのお店（事業所）と商売上恒常的な取引関係のあるお店（事業所）の名前と丁目を取引関係が強い順に5つまで教えてください。（飲食店にお客さんとして訪れるといったことは含みません）

	店舗・事業所名	丁目	
1			(69)
2			(70)
3			(71)
4			(72)
5			(73)

※お教えいただいた店舗・事業所名は、分析においては A, B, C…などの記号で扱われ、個別の商店名が外部にでることは絶対にありませんし、個々の商店が識別されることも一切ありません。

問 30 天神橋筋商店街（1～7丁目）の中で、一緒に食事をしたり、個人的な相談をしあうなど、あなた自身が付き合いのある商店主、事業主、従業員、あるいはその家族の方について、そのお店（事業所）の名前と丁目を付き合いの深い順に5つまで教えてください。

	店舗・事業所名	丁目	
1			(74)
2			(75)
3			(76)
4			(77)
5			(78)

※お教えいただいた店舗・事業所名は、分析においては A, B, C…などの記号で扱われ、個別の商店名が外部にでることは絶対にありませんし、個々の商店が識別されることも一切ありません。

問 31 「あなたのお店（事業所）がある丁目の商店街」に、あなたはどの程度活気を感じますか。

- (79)
1. 活気がある    2. どちらかといえば活気がある    3. どちらかといえば活気がない    4. 活気がない



【全員の方に】

問 38 あなたのお店（事業所）の方で、地元の商店街組織の役職経験のある方はいらっしゃいますか。

(18)

1. いらない  
2. いる → 具体的に「どなたが、いつ、どのような役職をなさっていたか」教えてください  
( )

問 39 あなたは地元の商店街組織の定例会、総会などの会合、寄り合いに参加していますか。

(19)

1. ほぼ毎回参加している      2. ときどき参加している      3. あまり参加していない      4. 全く参加していない

問 40 あなたは地元の商店街組織の活動にどの程度協力していますか。以下のそれぞれについてお答えください。

	協力 している	やや協力 している	あまり協力 していない	協力 していない	
a) 販売促進活動 .....	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(20)
b) 防犯・安全対策 .....	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(21)
c) 商業基盤（アーケード、街路灯など）の整備 ...	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(22)
d) コミュニティ設備（会議室など）の運営・管理 →	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(23)
e) イベントやお祭り .....	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(24)

問 41 あなたは地元の商店街組織にどの程度期待していますか。以下のそれぞれについてお答えください。

	期待する	やや期待 する	あまり期待 しない	期待しない	
a) 販売促進活動 .....	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(25)
b) 防犯・安全対策 .....	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(26)
c) 商業基盤（アーケード、街路灯など）の整備 ...	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(27)
d) コミュニティ設備（会議室など）の運営・管理 →	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(28)
e) イベントやお祭り .....	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(29)
f) 商店間の交流の促進 .....	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	(30)

◆あなたのお店（事業所）の今後についておたずねします。

問 42 今後も、現在の場所で商売を続けたいと思いますか。

(31)

1. ぜひ続けたい    2. どちらかといえば続けたい    3. どちらかといえば移りたい    4. ぜひ移りたい

問 43 あなたはお店（事業所）の今後の継続について、どのようにしたいと考えていますか。

(32)

1. 親族に継がせたい      4. 未定  
2. 従業員に継がせたい      5. その他（具体的に      )  
3. 自分の代で店をたたむ

問 44 では実際に、あなたのお店（事業所）の後継者はすでに決まっていますか。

(33)

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1. 子供が継ぐ予定      | 4. 決まっていない  |
| 2. 子供以外の親族が継ぐ予定 | 5. その他（具体的に |
| 3. 従業員が継ぐ予定     | )           |

◆最後に、あなた自身のことについて少しおたずねします。

(34)

問 45 あなたの性別は。 1. 男性 2. 女性

(35) (36)

問 46 現在、満年齢でいくつですか。 満\_\_\_\_\_歳

問 47 お住まいは以下のどれにあたりますか。

(37)

1. 店舗と同じ場所 2. 店舗の周辺（徒歩圏内） 3. 大阪北区内 4. 北区以外の市内 5. 大阪市外

問 48 最後に通われた学校（中退を含む）は以下のどれにあたりますか。

(38) (39)

- |                |                     |           |
|----------------|---------------------|-----------|
| 1. 旧制尋常小学校     | 6. 旧制高校・専門学校・高等師範学校 | 11. 新制大学  |
| 2. 旧制高等小学校     | 7. 旧制大学             | 12. 新制大学院 |
| 3. 旧制中学校・高等女学校 | 8. 新制中学校            | 13. その他   |
| 4. 実業学校        | 9. 新制高校             | （具体的に     |
| 5. 師範学校        | 10. 新制短大・高専         | )         |

問 49 お子さんはいらっしゃいますか。

(40)

1. いる

2. いない

付問 1 男のお子さんは \_\_\_\_\_人 (41)  
女のお子さんは \_\_\_\_\_人 (42)

付問 2 お子さんの中で、大学まで進学したお子さんがいらっしゃいますか。 (43)

1. 大学まで進学した子供がいる  
2. 子供は(いずれも)18歳未満だが、大学進学を考えている子供はいる  
3. 大学まで進学した子供も大学進学予定の子供もない

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～